

## 酒田市男女共同参画推進センター

# ウィズ・レター

# No. 108



目次 ▼市民ワークショップ実施報告 ▼学生向け講座実施報告 ▼ウィズ講座実施報告  
▼ミニ講座実施報告 ▼女性に対する暴力をなくす運動

**第1回：9/ 9 (土)**

【参加者：29人】

**第2回：9/30 (土)**

【参加者：26人】

## 酒田市

## ウィズプラン

(男女共同参画推進計画)

## 市民ワークショップ

## アドバイザー

山形県男女共同参画センター チェリア

館長 **伊藤 真知子 氏**



第2次酒田市男女共同参画推進計画（ウィズプラン）の後期計画策定に向けた「市民ワークショップ」を開催しました。はじめに、アドバイザーの伊藤真知子さんから、「なぜウィズプランの見直しが必要なのか」「多様な性別と男女共同参画・ジェンダー平等」「私たちにできること」を講話いただきました。ご参加いただいた10代から60代の市民の皆さんは、男女がともに暮らしやすいと感じられる社会にするにはどうしたらいいか、市民目線でいろいろなご意見やアイデアを出し合い、最後に男女共同参画の推進に向けて「私ができること、取り組みたいこと」を書き出しました。皆さんからいただいたたくさんのアイデアを踏まえて、現在、男女共同参画推進計画の策定をすすめています。

### 第1回『現状と課題を共有しよう』

- 講話「あなたらしく わたしらしく暮らせるまち」をつくる  
講師：伊藤真知子氏
- 説明  
・男女共同参画推進計画の概要および前期計画の進捗状況について  
・市民アンケート結果の概要について
- 話し合い  
1.はじめに（グループで自己紹介等）  
2.酒田市の男女共同参画の現状について  
課題（弱み）と強みを洗い出そう  
3.ふりかえり・まとめ  
私が思う「理想の未来」、総括・講評



### 第2回『これからの取り組みを考えよう』

- 説明  
・前回のふりかえり
- 話し合い  
1.はじめに（グループで自己紹介等）  
2.酒田市の男女共同参画について  
理想の姿に近づくための具体的な取り組みを考えよう  
3つ場面ごとに（職場）  
（地域・学校）  
（家庭）  
3.ふりかえり・まとめ  
私が選ぶ「実現すべき&実現したい“具体的な取り組み”」  
総括・講評



★席替えて  
たくさんの人と  
話しました！

## 地域・学校

- 自治会向けに、男女共同参画をテーマにしたワークショップを開催する。
- 自治会の役割、組織、業務を見つめ直し、女性が自然と関わられるようにする。
- 回覧板をLINEにする。（今までと同じことをしていると変わらない。チャレンジすることで一歩が始まります。）
- 教職員向けに、時代に合わせた価値観を学ぶ機会を充実させる。
- 家庭科等で、学びの後の生活の仕方をキチンと教える。（生活自立）



## “アイデア” 具体的な 取り組み（案）

## 家庭

- シニア世代のアンコンシャス・バイアス解消セミナーの実施。
- 家事分担シートなどの作成と配布。見える化、話し合い。
- 家事のセミナーを開催したり、（家庭では）家事サービスを利用する。
- 家族がワンチームで、家事や子育てを楽しむ。
- 家庭の責任と、仕事の責任を両立させるための支援を。
- 家庭が内発的に変化するのは難しい。これを嘆くのではなく、むしろ効果的外圧を与えるべき。  
（例）・家事をしなければいけない合宿に参加して修了証がないと昇進できない。  
・〇曜日は、男性が家事を全部する。

## 職場

- 多様な働き方（在宅勤務、フレックスタイム、ダブルワークなどが気兼ねなく自由にできること。）
- 休暇を取りやすい職場環境づくり  
（有給休暇、産休、育休、生理休暇など）
- 女性が管理職になりたいと思えるよう、根底にある「女性は子育てや家事を担う」という意識を変える。
- 非正規の人が正規になれるチャンス。
- 同一労働、同一賃金
- 男性の育休の義務化





## デートDV防止講座 ～お互いを大切にする関係とは～

7月10日（月）酒田南高等学校と共催しました！【参加者：2学年211人】

講師：山形県男女共同参画推進員 安田 綾子 氏

男女共同参画社会づくりの一環として、深刻な社会問題にもなっているDVについて、高校生を対象に正しい知識の普及と防止を目的に開催しました。講師の安田綾子さんには、「お互いを大切にする関係」について、動画とロールプレイを交えてより分かりやすくお話をいただきました。参加した皆さんは、人と人とのよりよい関係性に必要な大切なことを学ぶ良い機会になったことと思います。



【酒田南高等学校の皆様】



【講師：安田 綾子 氏】



【ロールプレイの様子】

### ★参加者のアンケートから

- 今までは、デートDVなどをあまり考えていなかったけど、今回の講話を聞いて相手への尊重が大切だということを知ることができた。
- デートDVについてみんなが真剣に向き合っていると感じました。
- DVは悪い意味で親から代々受け継がれていってしまうものなのかなと色々な情報を見て思いました。
- 自分も誰かをDV等で傷つけないように最善の注意をはらわなければいけないと自分自身を見つめました。

## LGBTQ+ & SOGI講座 ～多様な性について考える～

7月12日（水）酒田東高等学校 と共催しました！【参加者：2学年143人】

9月14日（水）酒田看護専門学校 【参加者：1学年 32人】

講師：東北文教大学短期大学部 特任准教授 齋藤 由美子 氏

誰もが性別にかかわらず、ひとりの人間として尊重される男女共同参画社会づくりの一環として、「LGBTQ+」と「SOGI」について正確な知識を得て、すべての人がその人なりのSOGIのあり方をしているという多様な性について理解を深め、多様性を尊重する意識づくりを進めることを目的に開催しました。講師の齋藤由美子さんには、「LGBTQ+」と「SOGI」に関して、大学での授業の反応とワークを交えて、LGBTの置かれている状況や、誰もが安心安全に暮らせる社会について、とてもわかりやすくお話をいただきました。皆さんにとって、暮らしやすい社会を創っていくことにつながるとも良い機会になったことと思います。



【酒田東高等学校の皆様】



【酒田看護専門学校の皆様】



【講師：齋藤 由美子 氏】

### ★参加者のアンケートから

「普通の」女性、「普通の」男性なんてなくて、人の数だけ性の数もあることがわかった。性はグラデーションという表現にとっても納得した。性の多様性については、どうしても最近話題に上がったものなので、上の世代の人はなかなか性の多様性について納得、理解できないのと思う。国会は上の世代の人が多いため、法律がまだ性的少数者の人に対して厳しいものであるままなのだった。だから、ヘンな固定観念や性はこういうものだという「常識」を持たない、私たち若い世代の方が性の多様性を理解していると思うし、だからこそ私たちが世の中に広めていかなければならないと感じた

医療に従事する上でも患者の性の多様性などが今後更に問われていくので、自ら性の多様性について、決して簡単ではないが理解を深めていきたいと思った。日本が一刻も早く、同性婚を認めるなど、行政の改革を進めてほしいと考えた。公的な「権利」が無いと、個々の性のあり方が社会に認められないという事実そのものが理不尽だと思う。互いに価値観を尊重し合える社会になってほしい。性についてみんなで考える機会があって嬉しかったです。



ウイズ  
講座

# “ごっとさん”にきく！令和モデルの家族たち

開催日：10月21日（土） ～家事・育児シェアで、心地よい家族へ～

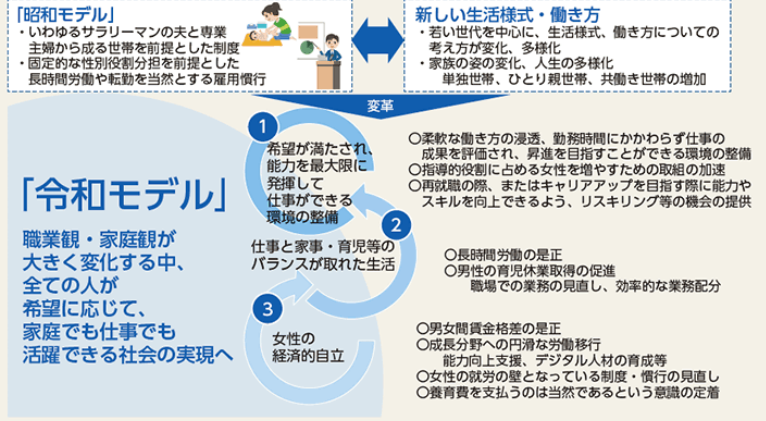
会場：酒田市公益研修センター

講師：後藤 敬子 氏 ごっと助産院 院長

参加者：22人（20代～60代）

令和モデル  
とは？

特-79図 「令和モデル」の実現に向けて



講師の後藤敬子さんは、誰もが仕事でも家庭でも活躍できる「令和モデル」の実現に向けて、育児休業を取り巻く状況から男性育休取得までの流れまでをわかりやすく説明しました。続いて家事シェアを実現するための要素として大切な自立の4大項目、「精神的自立」「経済的自立」「性的自立」「生活上の自立」についてお話しされました。また、ご自身の体験談の性別役割分業を乗り越えた話は、心に響き、共に家事・育児をする大切さを深く考え学ぶことができました。参加者の皆さんは「令和モデル」の学びを通して、日頃の家事を見つめ直し、相手を思いやる心を持ち、さらに日々の暮らしを大切に生きるための良いきっかけになったことと思います。

【内閣府男女共同参画局ホームページより】



【講座の様子：酒田市公益研修センター】



【講師：後藤 敬子 氏】



日頃の家事をする中でストレスを感じることも多いですが、目線を変えてストレスをためないように生活していきたいと思った。（30代男性）



先生の話を聞くと、育児を見直すきっかけになります。今後も講座に参加することで、自分を好きになり、子育てを楽しんでいけるといいなと思います。（30代女性）



2人で共に力を合わせて育児をしていかなきゃいけないことを、改めて感じました。頼る所は頼りたいと思いました。（20代女性）

★参加者のアンケートから

「責めることではなく、できたことを認める。」本当にその通りだなあと感じました。詳しい家事のやりとりを含め、楽しく、そして相手を尊重しながら自分のことももっと好きになる。素敵な講演ありがとうございました。（30代女性）

得意なことを聞いて回り、目の前に立った敬子先生の笑顔がやさしく、こちら笑顔になりました。私は、親の世代ですが、若い二人の良き協力者になりたいと思っています。そのために私にも笑ってほしいものです。（60代女性）



後藤さんの実生活での話が、とても得心がいく事例でした。（60代男性）







## 「マタニティ教室Bコース～家族みんなで育児～」において 三二講座「家事シェアのススメ」を行っています！



マタニティ教室は、妊婦さんとご家族が参加できる講座です。パパの妊婦体験や赤ちゃんのお世話体験、みんなでヨガの後、ウィズでは、ママが安心して出産できるよう、「男性の育児休暇」と「家事シェア」についてお伝えしました。男性の育児休暇は、参加した男性の約半数が取得する予定であり、少しずつ進んできているように感じました。ワークでは、「家事、育児シェアが見てわかるシート」を実際に活用し現状を把握しました。結果について参加者に尋ねると、面白い結果がでたり、いろんな気づきがみられ、改めて家事分担を考えるきっかけになったようでした。フランス出身の参加者に、フランスでの家事を聞いてみたところ、「フランスに専業主婦はいない。フランスではどちらも仕事をしているので、シェアが多く簡略して家事をしている。日本は、家事をやりすぎだと思う。」と情報があり、皆さんフランスの家事情を興味深く聞いていました。



◆5/13 (土)

祖母がたくさんやってくれていることに感謝です。  
(男性)



◆8/7 (月)

2人で分担しています。結構前からやってくれていた。妊娠してから、さらに家事をしてくれるようになった。(女性)



◆10/15 (日)

自分がやっている家事は、まだまだ少ない。見直していく必要があると思った。(男性)



◆12/16 (土)

夫は、あまり家事をしていないと思っていたが、やってみたら、2人で結構うまくやっていることがわかって安心した。(女性)



## 女性に対する暴力をなくす運動



11月12日(日)から25日(土)までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、日和山公園六角灯台ライトアップと、市役所においてパネル展「STOP THE DOMESTIC VIOLENCE」を実施しました。また、児童虐待とDVは密接に関係することも多く、児童虐待防止のシンボルでもある「オレンジリボン」と女性に対する暴力根絶のシンボル「パープルリボン」を組み合わせた運動を、市役所入口で行いました。



会場：市役所 フリースペース



会場：交流ひろば



日和山公園六角灯台



会場：市役所 入口

全国共通DV相談ナビ  
(短縮ダイヤル) # 8008

発信地の情報から、最寄りの相談機関の窓口へ電話が自動転送され、直接相談できます。

★酒田市は、日本一女性が働きやすいまちを目指しています！



酒田市地域創生部地域共生課男女共同参画係  
男女共同参画推進センター **ウィズ**

開館 月～土 9:00～22:00  
日・祝 9:00～17:00  
相談 月～金 9:00～16:00(祝日除く)  
〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5  
交流ひろば内

Tel: 0234(26)5616

Fax: 0234(26)5617

E-mail: [with@city.sakata.lg.jp](mailto:with@city.sakata.lg.jp)



▲ウィズHP

